

OSS(戦略情報局)の全貌

CIAの前身となった諜報機関の光と影

太田 茂著 A5判ソフトカバー336頁 本体 2,700円 ISBN978-4-8295-0844-2

最盛期3万人を擁したOSS [Office of Strategic Services] の設立から、世界各地での諜報工作や破壊工作の実情、そして戦後解体されてCIA(中央情報局)が生まれるまで、情報機関の視点からの第二次大戦裏面史!

- 1941年 情報調整局(COI)設立
- 1942年 戦略情報局(OSS)設立
- 1945年 トルーマン大統領の命によって解体
- 1947年 OSSを前身とした中央情報局(CIA)設立

ドノヴァン長官の強烈な個性と実行力により、ヨーロッパ、北アフリカ、東南アジア、中国などに拠点を設置し、スパイなどによる情報収集の諜報活動や、枢軸国に対するゲリラ、サボタージュ、破壊工作などの特殊作戦を実行した。その活動の全貌を明らかにする。



ドノヴァン
(OSS長官)



ダレス
(OSSベルン支局長)



スタイルウェル
(陸軍大将)

著者 太田 茂 (おおた しげる)
1949年福岡県生まれ。京都大学法学部卒。
現在、虎ノ門総合法律事務所弁護士。
1977年大阪地検検事に任官後、西日本、東京等各地の地検、法務省官房人事課、刑事局勤務。その間、1968年から3年間北京の日本大使館一等書記官。法務省秘書課長、高知・大阪地・高検各次席検事、長野地検検事正、最高検総務部長を経て、2011年8月京都地検検事正を退官。早稲田大学法科大学院教授、日本大学危機管理学部教授を8年間務めた。剣道鍊士七段。令和2年秋、瑞宝重光章。

著書『ゼロ戦特攻隊から刑事へ』(芙蓉書房出版)、『実践刑事証拠法』『応用刑事訴訟法』、『刑事法入門』(いずれも成文堂)

★アレン・ダレスらが謀略工作により北イタリア戦線のドイツ軍を降伏に導いた「サンライズ作戦」、蔣介石の右腕といわれた戴笠と密接な連係をとり抗日の秘密戦工作を展開したミルトン・マイルズ、ビルマのカチン族と協働して抗日のゲリラ戦を戦ったカール・アイフラーなどの活躍を詳述。

★また、OSSが軍部やFBI等と厳しい対立関係にあったことや、諜報工作的失敗例や戦後の数々の批判、解体からCIAに生まれかわるまでの過程も詳述。

第1章 OSS、三つの大作戦

- 1 OSSが真価を発揮したサンライズ作戦
- 2 ミルトン・マイルズと戴笠の友情と戦い
- 3 「鉄人」アイフラーの戦い

第2章 OSSとは何か

第3章 OSSの作戦の光と影—第二次大戦裏面史

第4章 中国を混迷させたOSS

第5章 OSSとCIA



ウェデマイヤー
(陸軍大将)



マイルズ
(海軍少将)



戴笠
(蔣介石の右腕)

9月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 8月23日(火) です

FAX 03-3813-4615

	発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
	OSS(戦略情報局)の全貌		
	9月新刊 本体 2,700円		部